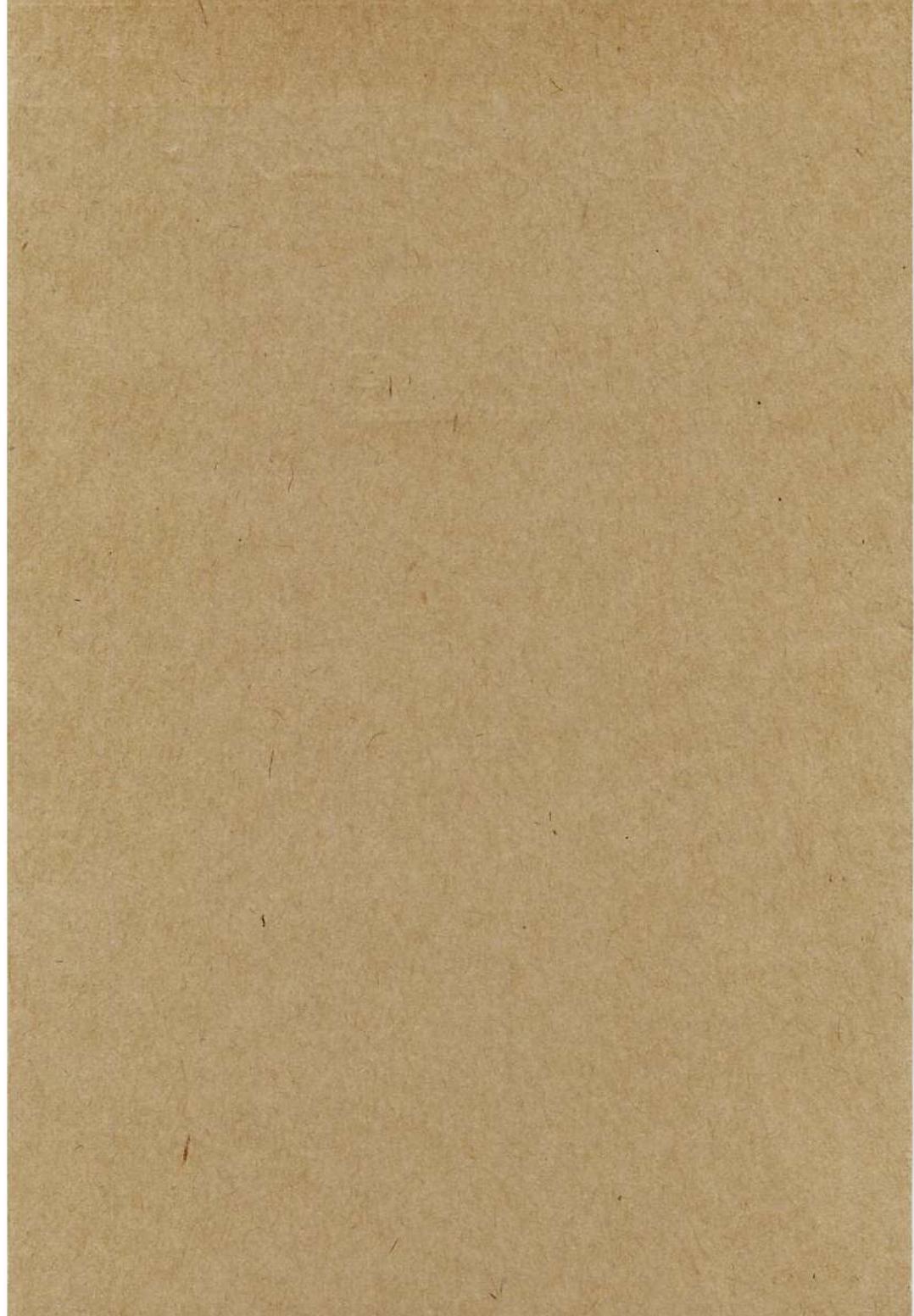


PROJECT OF LIFE

人生のプロジェクト



山崎拓巳
Takumi Yamazaki





Takumi Yamazaki
PROTECT OF LIFE

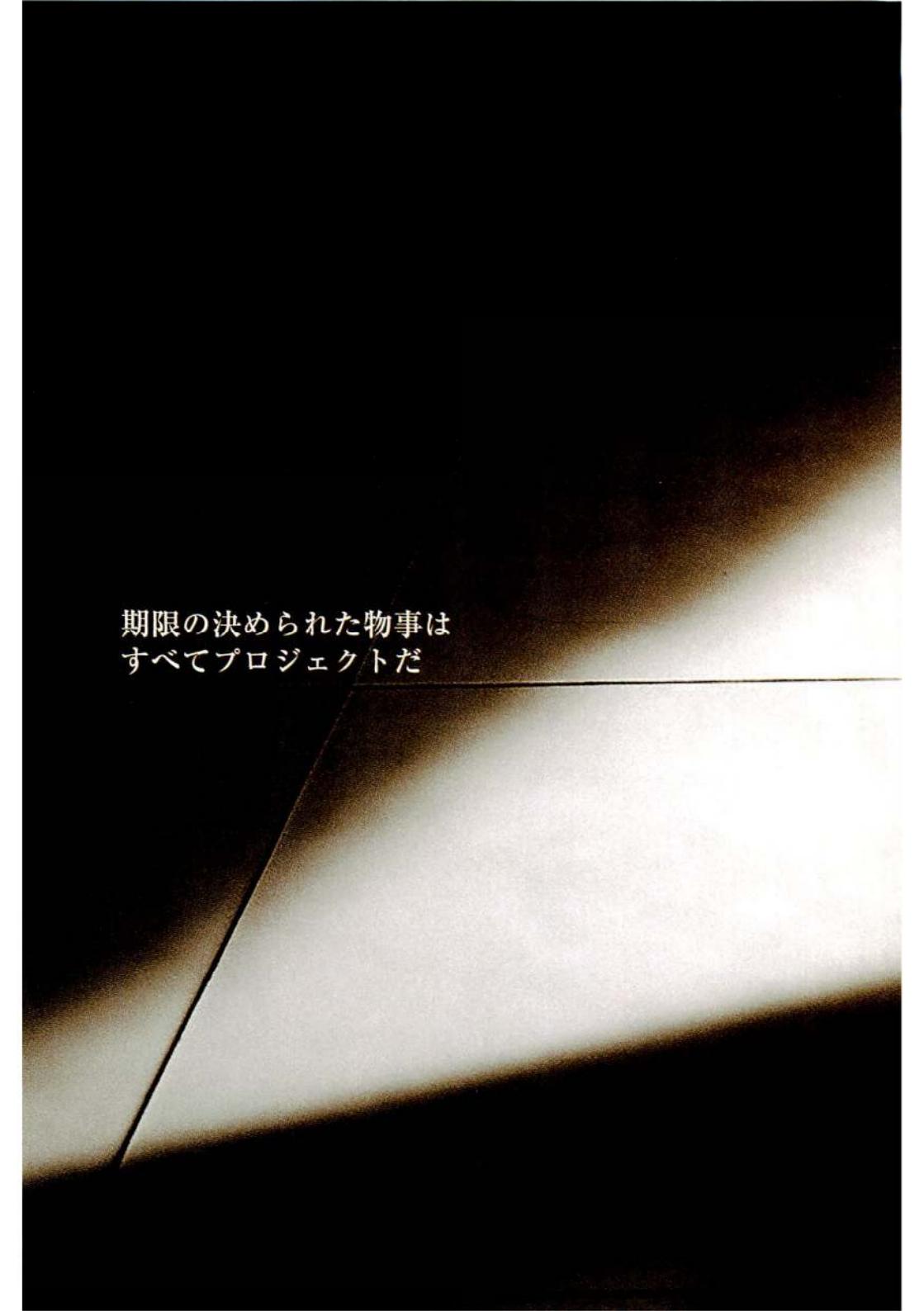
SANCTUARYBOOKS



人生のプロジェクト

山崎 拓巳

Takumi Yamazaki

The background is a dark, textured surface, possibly a wall or floor, with a bright, warm-toned diagonal beam of light sweeping across it from the bottom left towards the top right. This beam creates a strong contrast and highlights the texture of the surface.

期限の決められた物事は
すべてプロジェクトだ





二人の男がレンガを積んでいた。

「君たちはなにをしているんだ？」とたずねると、
一人は「レンガを積んでいるんだ」と答えた。
もう一人は「教会を造っているんだ」と答えた。

そして二人の未来は、まったく違うものになった。



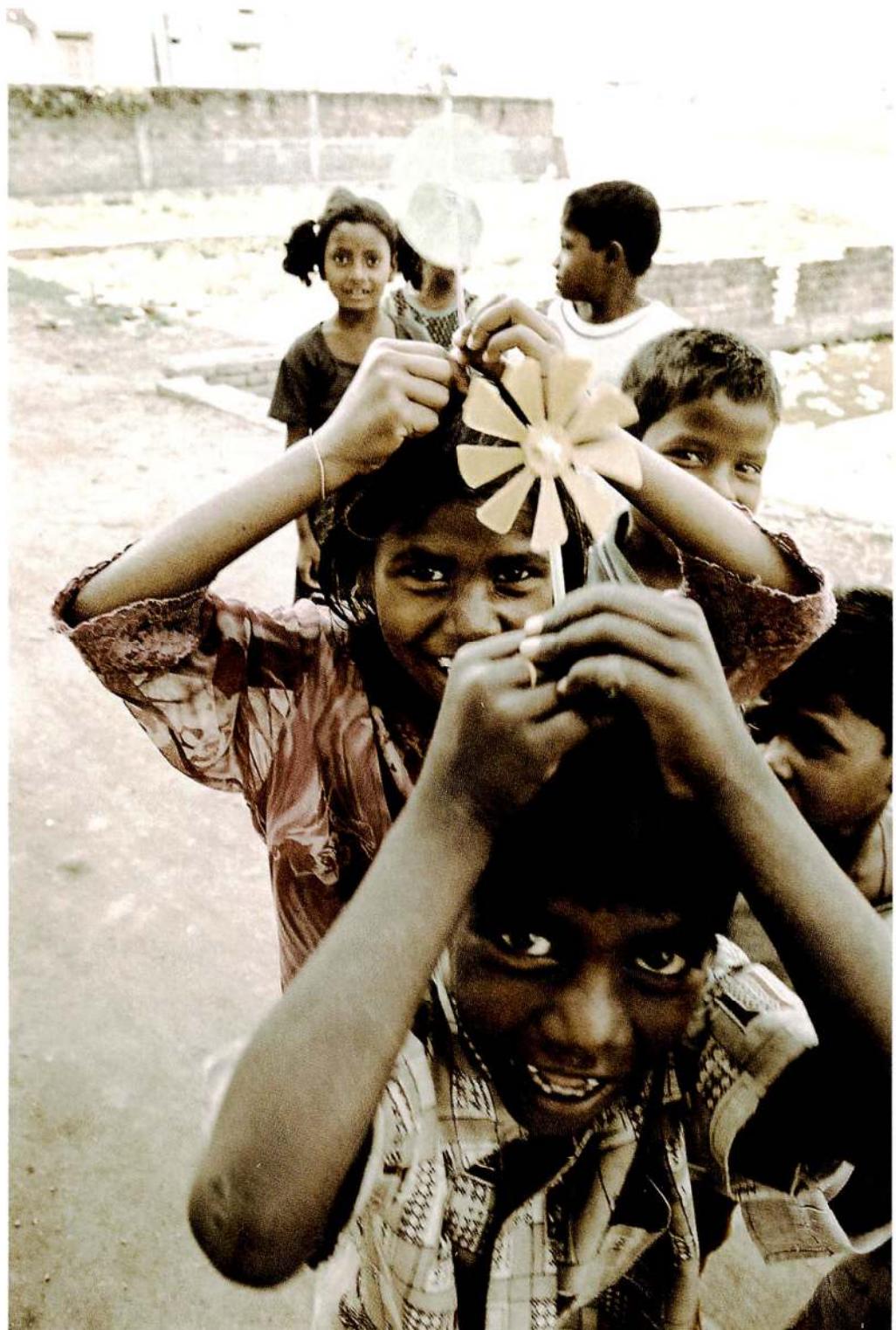
Prologue



人が働くのには目的がある。



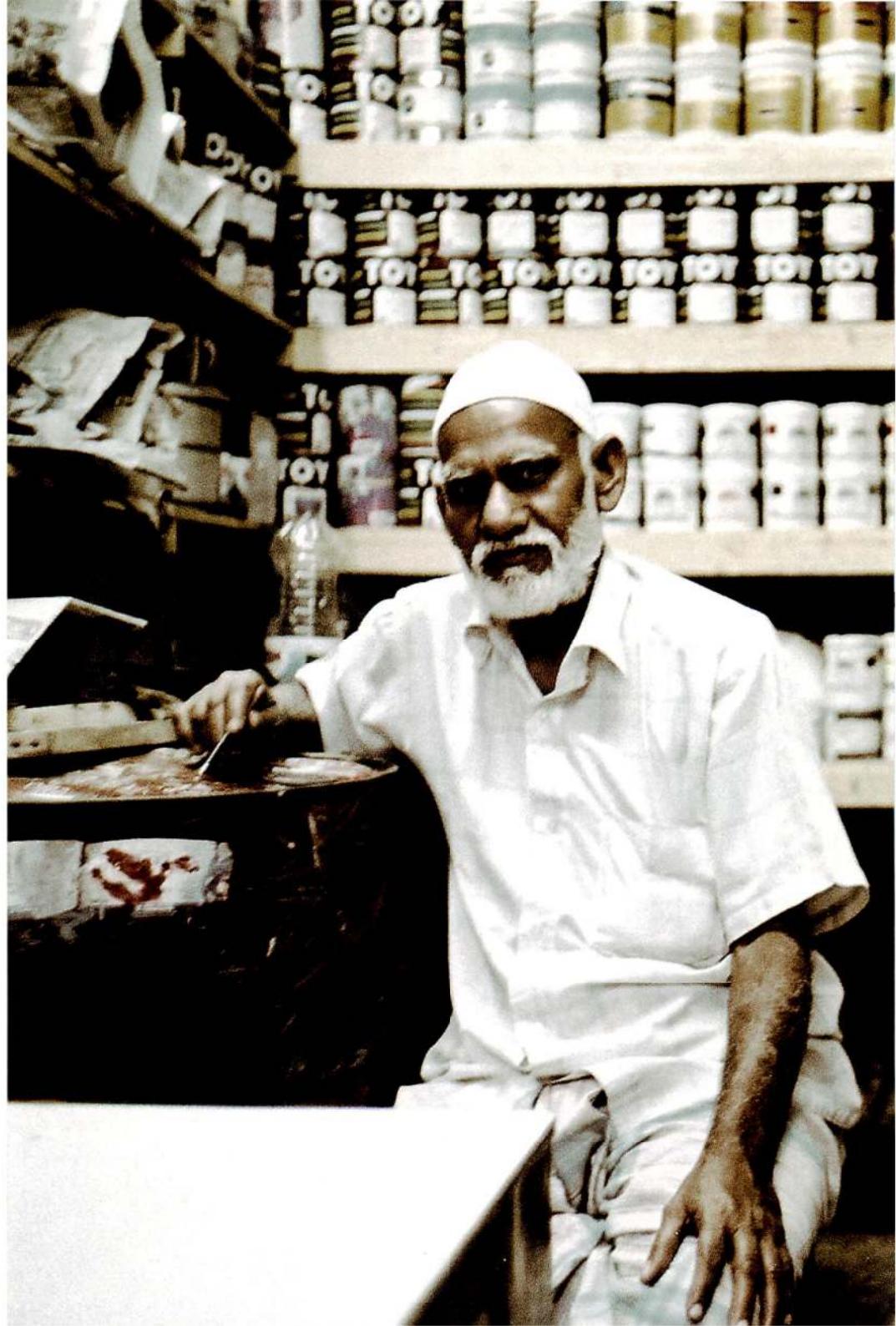
自分がただ食べていくためか。

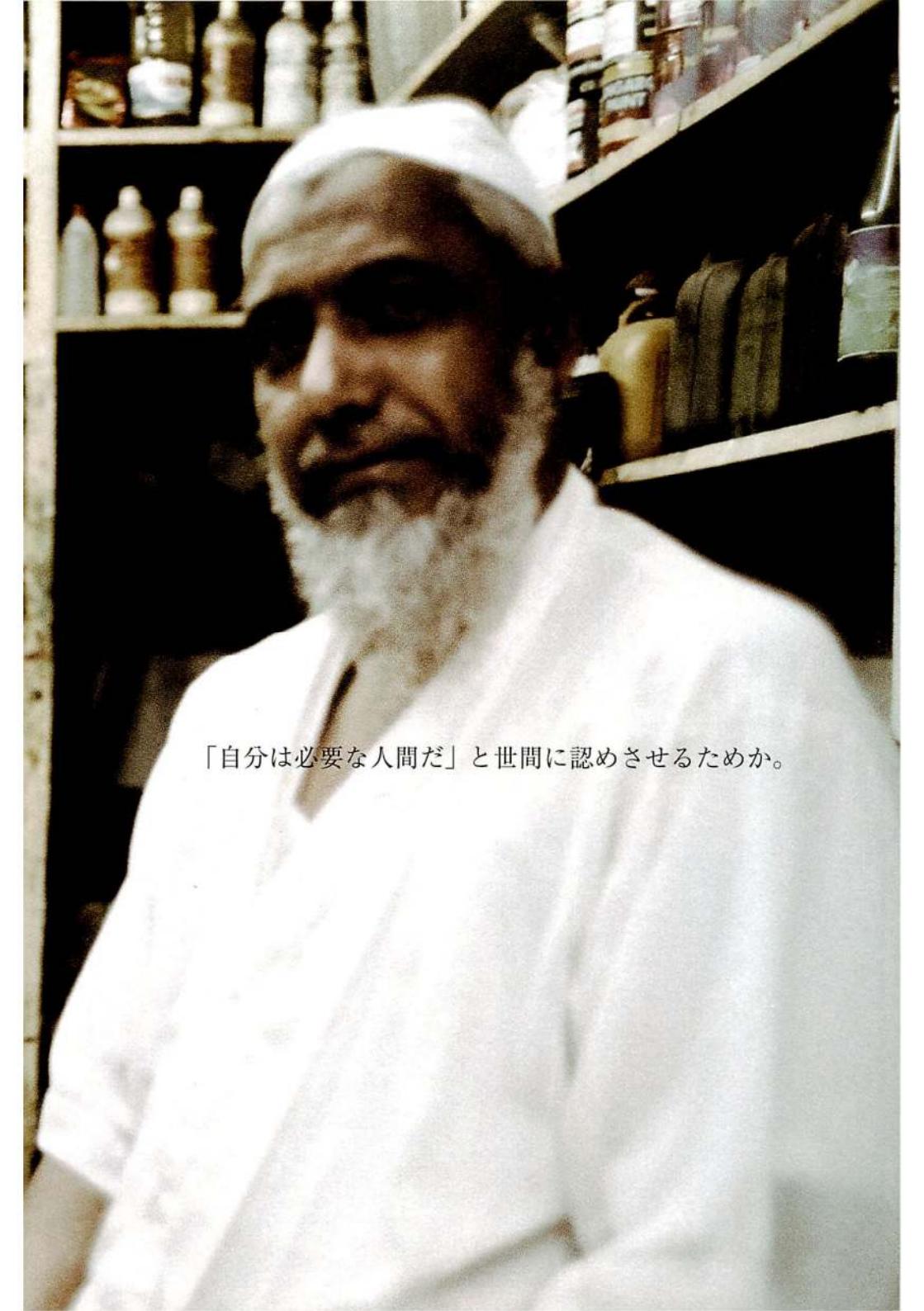


愛する家族を養うためか。

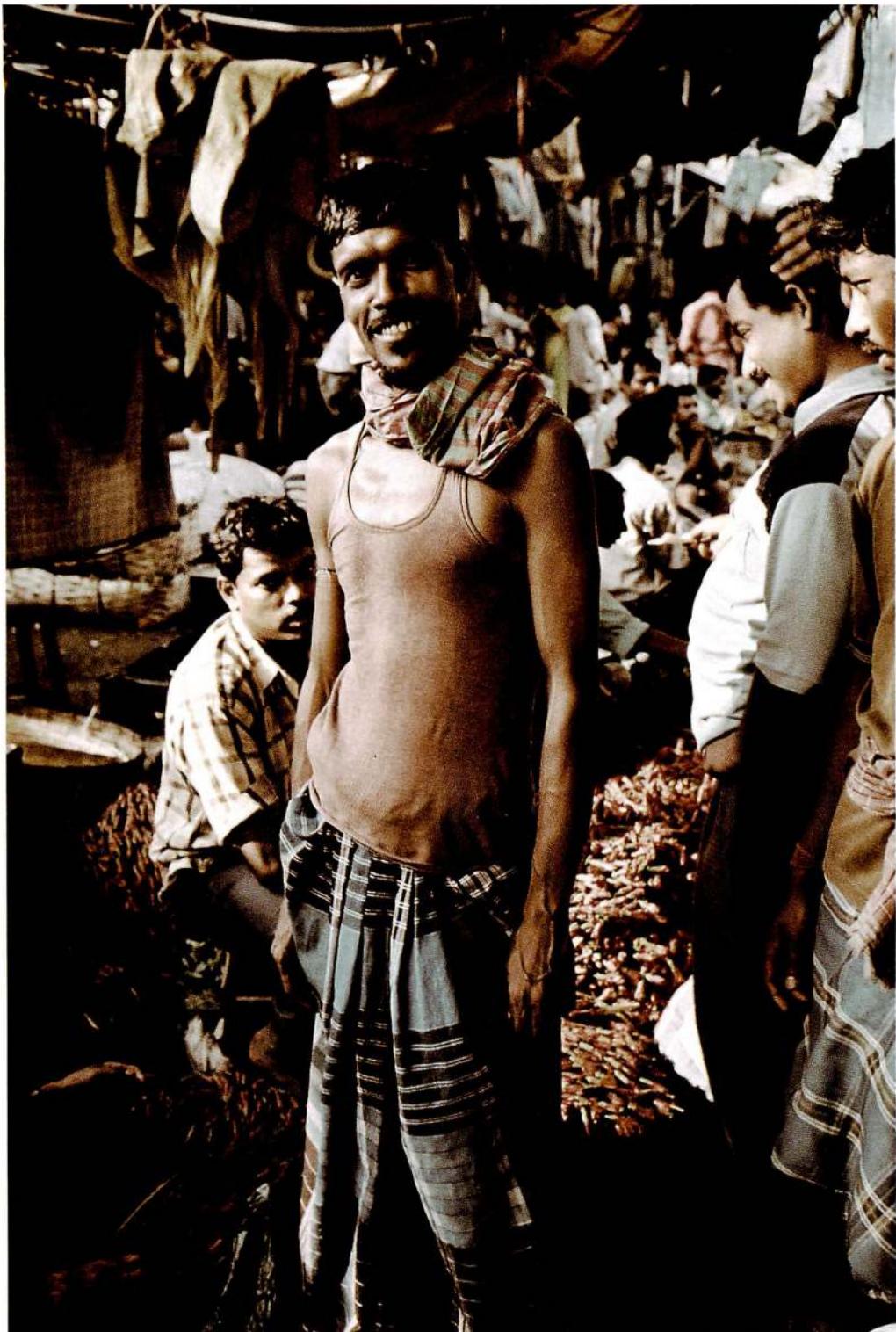


出世や名誉、
より贅沢な生活を手に入れるためか。

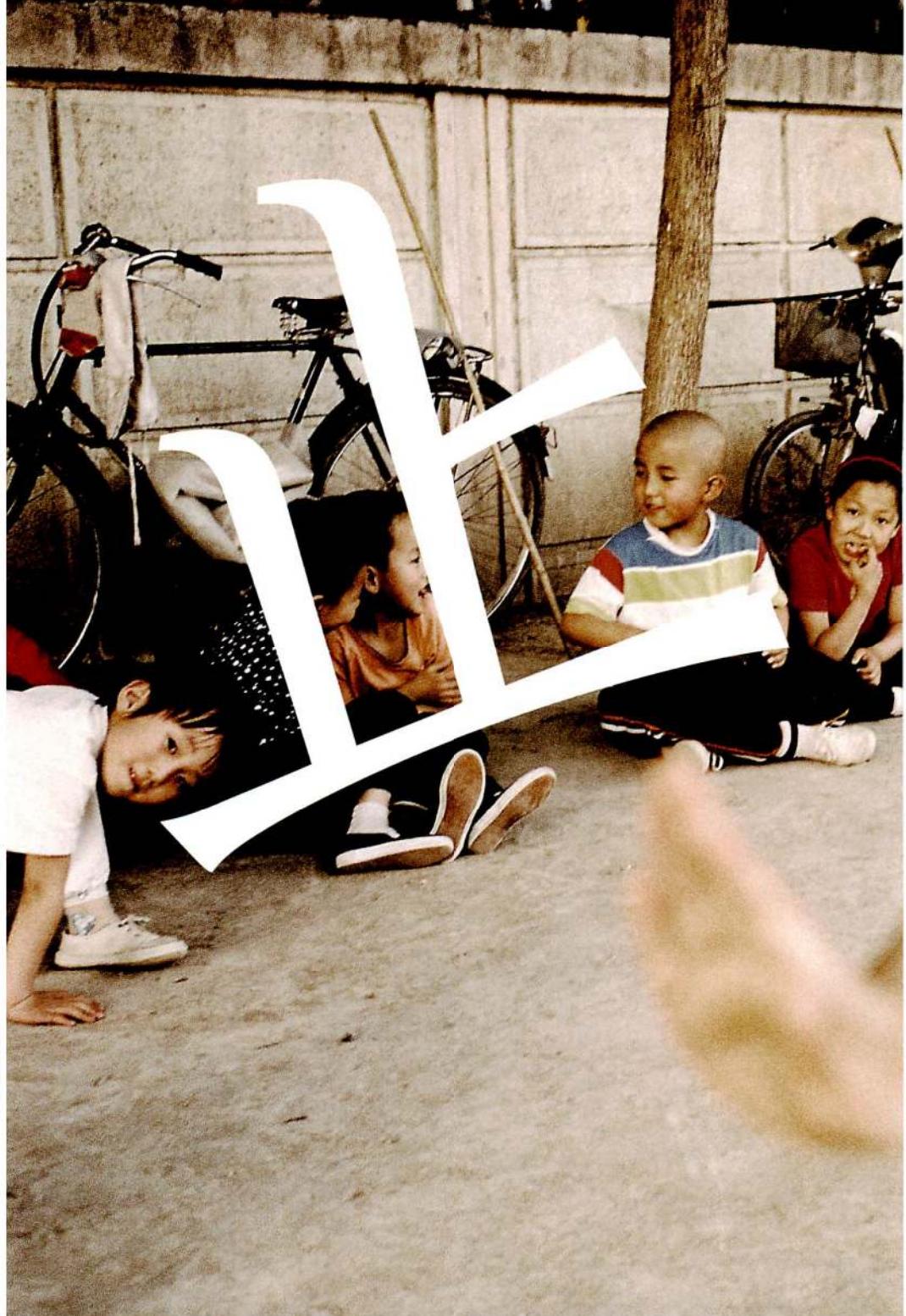




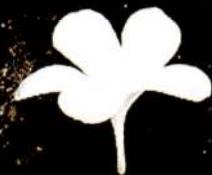
「自分は必要な人間だ」と世間に認めさせるためか。



それとも働くこと自体、
楽しいと思っているからか。

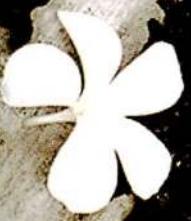




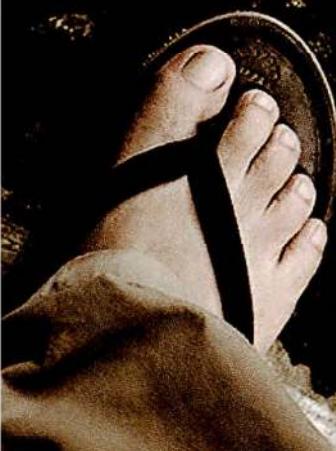


時間を止めて、自分の心と





ゆっくり会話してみてほしい。





A blurry, out-of-focus photograph of a person walking away from the viewer through a field of tall grass or crops. The person is wearing dark clothing and appears small against the vast, green landscape. The background shows more vegetation and possibly a line of trees or bushes.

目の前のことばかりに気を取られていると、
いつの間にか「虫の目」になる。
虫には木しか見えないが、
鳥には森が見えている。
「鳥の目」を使って
いちど空から自分の姿を確認してみよう。